

屋内専用折りたたみ式踏台JPPF215型

取扱説明書

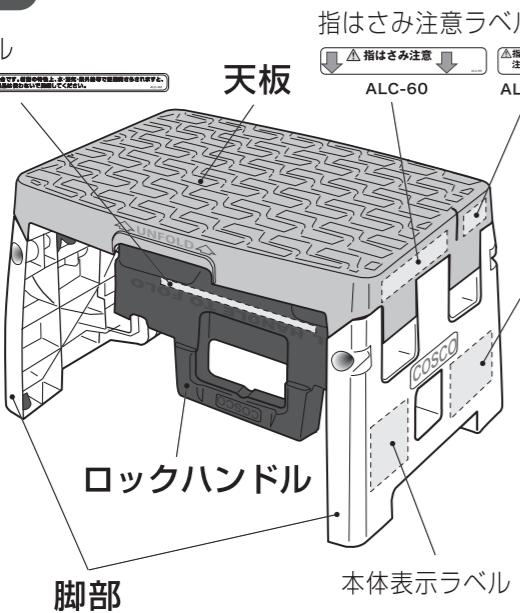
この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項を記載しています。製品のご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、いつもそばに置いて、わからないときにご再読ください。



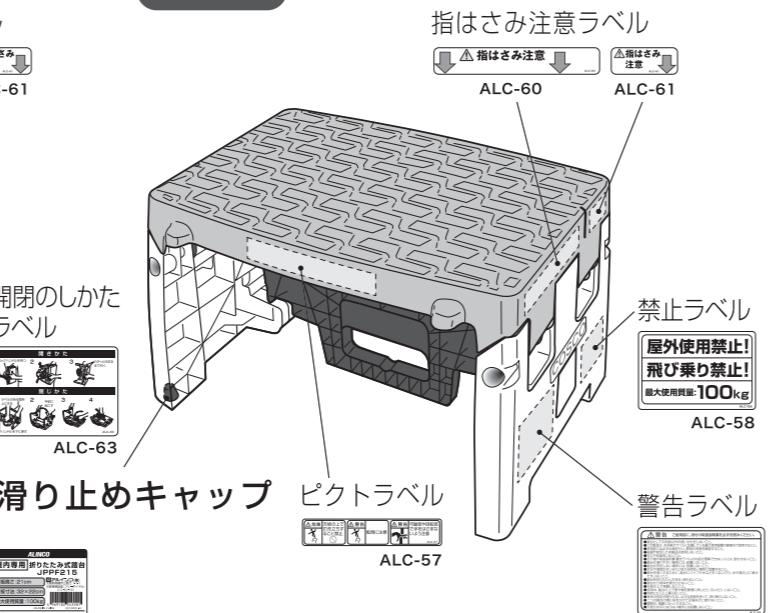
- 使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく使用してください。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- この説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らなければ、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。
- この製品は屋内専用の樹脂製踏台です。水・湿気・紫外線（直射日光等）があたる場所で長期間、使用・保管されますと、各部に劣化が生じ、強度が低下します。劣化した製品をご使用された場合、最大使用質量より少ない力で破損し、バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。**

各部のなまえ

前面



後面



表示マークについて

△危険 「死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きい内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

このマークは、禁止（してはいけないことを示します）。

△警告 「死亡や傷害事故が生じる危険がある内容」です。

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には以下の意味があります。

可動部や回転部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、手をはさまる恐れがあることを示します。

天板の上で爪先立ちすること禁止

製品の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを示します。

転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

■ 安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

△警告 屋内専用踏台としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、「屋内専用の踏台」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

△警告 この製品は、本体表示ラベル記載の最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

△警告 踏台を加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

△警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人は、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

△注意 使用に適した服装で使ってください。

ロングスカート・エプロン・マフラーなど、昇り降りや作業中に、製品に引っ掛かったり、そそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

△注意 貼り付けてあるラベルが無くなったり、読めなくなったりした製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
※ラベルを取り寄せるときは、「各部のなまえ」のラベルナンバーをご連絡ください。

△注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

△注意 スリッパやナイロン製の靴下など、滑りやすいものは脱いでください。

滑りやすいものをはいていますと、足を滑らせて転倒や転落の恐れがあります。

2. ご使用になる前に

△警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

△警告 破損や変形した踏台を使わないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

3. 運ぶときは

△注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

△危険 火のそばや高温になる場所には設置しないでください。

△警告 踏台が滑りやすい場所には、設置しないでください。

●滑りやすい場所。
●濡れている場所。

△警告 踏台が不安定しない場所には、設置しないでください。

踏台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

△警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。
足を踏み外したり、周囲の危険なものに気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、踏台が倒れて転倒や転落の恐れがあります。

△注意 周囲に危険なものがある場合や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。
転倒や転落の恐れがあります。

△注意 同じ場所に設置されますと、床材等の材質によっては滑り止めキャップの接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。

5. 開閉するとき

△注意 踏台を開閉するときに、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。

けがをする恐れがあります。

6. 設置するとき

△警告 踏台を高くするために、踏台にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などで、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 踏台を折りたたんだまま、使わないでください。

転倒や転落の恐れがあります。

7. 昇り降りや作業するとき

△危険 天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。天板に乗るときは、身体が天板の中央になるように乗ってください。

△警告 踏台から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 天板の上で移動しないでください。

移動するとバランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。

△警告 使用中、踏台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動で踏台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 同時に2人以上乗らないでください。

転倒や転落の恐れがあります。

△警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、補助者が荷物を手渡してください。

△警告 二つの踏台の間に板をかけて足場などに使わないでください。

踏台が破損したり、不安定になって転倒や転落の恐れがあります。

△警告 踏台は慎重に昇り降りし、飛び乗りや飛び降りは、しないでください。

傷害事故の恐れがあります。昇り降りは、慎重に行ってください。

■ ご使用前の点検

踏台をお使いになる前には、以下の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、以下の点検をしてください。

- ①天板に、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
- ②各部に曲がり・ねじれ・割れがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ③各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ④リベットのゆるみや抜け落ちがありますか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ⑤滑り止めキャップが外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

2. 開閉して、以下の点検をしてください。

- ①ロックハンドルが確実にロックするか点検してください。確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ②ゆるみやガタツキがありませんか。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

3. 昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、必ずロックハンドルが確実にロックされていることを確認してください。
- 素足、または滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を踏台の昇降面に向けて、慎重に昇り降りしてください。
- 作業するときは、身体が踏台から乗り出さないようにしてください。
- 身体が天板の中央にくる位置に乗ってください。
- 踏台を移動するときは、踏台から降りて移動してください。

■ 踏台の使いかた

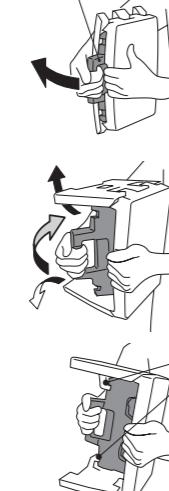
1. 設置場所について

- 火のそばには、設置しないでください。
- 屋内の平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また踏台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 水のかからない場所に設置してください。
- 踏台の周囲に危険なものがなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は、踏台にガタツキがないか確認し、ある場合は、踏台の位置を平坦な安定した場所に移動してガタツキなどを取り除いてください。
- 踏台の周囲にある危険なものは取り除いてください。

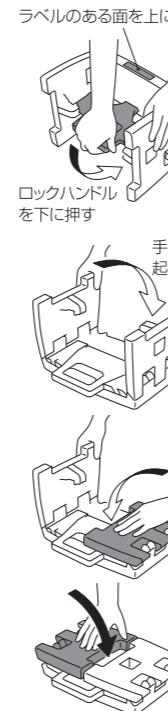
2. 開閉のしかた

△警告 開閉は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

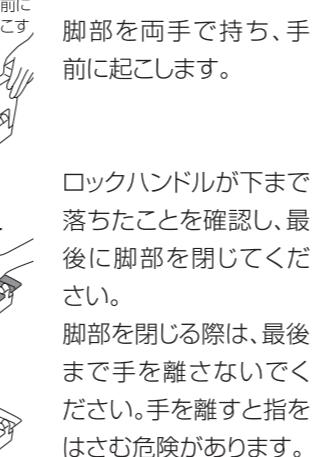
強制 ロックハンドルを持つ



踏台の開きかた
片方の手をUNFOLD(開く)と書かれた隙間部分に入れ、もう一方の手はロックハンドルを握って開き、ロックがかかるまで、しっかりと開いてください。



ラベルのある面を上にする
踏台の閉じかた
ラベルが貼られている面を上にしてロックハンドルを持ち、下に押下げます。



■ お手入れと保管のしかた

お手入れのしかた

踏台にとって泥・汚水・油・塩水は大敵です。
いつもきれいにしておいてください。

＜掃除のしかた＞

- ①汚れは、濡れぞうきんなどきれいに拭き取ってください。
- ②汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③油系の汚れは中性洗剤で落とした後、洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

保管のしかた

- ①高温多湿にならない場所を選んで保管してください。
- ②雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当ると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
- ③本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

△注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 同じ場所に保管されますと、床材等の材質によっては滑り止めキャップの接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。

■ 故障かな?と思ったら

△現象》 ●使ったときに、グラグラする。

確認	処置
平坦な安定した場所に設置しているのに、可動部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

△現象》 ●設置面が水平であるのに、ガタガタする。

確認	処置
各部に曲がりやねじれはありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップが外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないうで廃棄してください。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないうで廃棄してください。

△現象》 ●踏台がロックできない。

確認	処置
ロックハンドルと脚部の大きなガタツキがありますか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

△警告 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

 **アルインコ 株式会社**

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1 お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※本書の無断転載を禁じます。 ※万一乱丁、落丁がございましたら、お取り替えいたします。